



# 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月5日

上場会社名 日本ケミコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6997 URL <https://www.chemi-con.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上山 典男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石井 治

TEL 03-5436-7711

半期報告書提出予定日 2024年11月6日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	59,914	25.4	1,850	63.9	298	94.4	78	
2024年3月期中間期	80,341	4.3	5,123	5.6	5,320	10.8	22,781	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,049百万円 ( %) 2024年3月期中間期 19,805百万円 ( %)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	3.66	2.37
2024年3月期中間期	1,123.49	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	158,333	54,499	34.1
2024年3月期	172,921	53,610	30.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 54,013百万円 2024年3月期 53,097百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	11.8	7,200	23.6	5,900	25.4	4,000		187.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	21,939,933 株	2024年3月期	21,939,933 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	582,543 株	2024年3月期	581,744 株
期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	21,357,740 株	2024年3月期中間期	20,277,490 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	14,426.20	14,426.20
2025年3月期	—	—			
2025年3月期(予想)			—	55,000.00	55,000.00

(注) 上記のA種種類株式の発行数は10,000株であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国では個人消費や設備投資が堅調に推移するなど景気は回復基調で推移いたしました。一方、欧州経済は持ち直しの動きが見られたものの、製造業の低迷が長期化するなど景気回復のペースは極めて緩慢なものとなりました。また、中国においても不動産不況の継続や個人消費の停滞を背景に景気は減速基調で推移いたしました。日本国内におきましても、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響等もあり製造業の生産活動が弱含みで推移するなど、景気は総じて回復感の乏しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く市場環境につきましては、自動車関連市場は電気自動車(EV)販売の減速や部品在庫の調整により、軟調に推移いたしました。一方、産業機器関連市場は中国経済の減速等による企業投資の抑制が見込まれるなか、引き続き顧客での在庫調整が継続いたしました。他方、ICT関連市場はパソコンの出荷台数が緩やかに回復に転じるとともに、データセンター向けAIサーバーも米国IT大手などのデータセンター向け投資の増加により急回復いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは第10次中期経営計画に基づく諸施策を着実に実行してまいりました。販売面では、引き続き車載、産業機器、ICT市場向けの高付加価値製品の販売に注力し、不採算品の生産を終息させることで収益性の改善に努めてまいりました。生産面では、ケミコン東日本株式会社宮城工場にハイブリッドコンデンサ専用の新製造棟を新設し、10月から生産を開始いたしました。更に、台湾佳美工股份有限公司でもハイブリッドコンデンサの製造ラインを増設し、収益性の高い製品の生産体制を強化しております。

製品開発では、自動車や通信インフラ等に最適な製品を開発いたしました。チップ形導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ「PXYシリーズ」は、はんだ付け工程における熱ストレスにより発生する漏れ電流を抑制し、そのバラツキを抑えることに成功した高信頼製品です。また、既存品のチップ形導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサ「HXKシリーズ」においては、大容量製品に対する旺盛な需要に応えるため、サイズを大型化した製品を追加でラインアップいたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の連結業績につきましては、売上高は599億14百万円(前年同期比25.4%減)、営業利益は18億50百万円(前年同期比63.9%減)、経常利益は2億98百万円(前年同期比94.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は78百万円(前年同期親会社株主に帰属する中間純損失227億81百万円)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、1,583億33百万円となり前連結会計年度末に比べて145億88百万円減少いたしました。

流動資産は、871億94百万円となり176億20百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少189億76百万円などです。固定資産は、711億38百万円となり30億32百万円増加いたしました。

負債は、1,038億33百万円となり154億77百万円減少いたしました。主な要因は、借入金の減少131億82百万円などです。

純資産は、544億99百万円となり前連結会計年度末に比べて8億88百万円増加いたしました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加などです。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の30.7%から34.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期(通期)の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(2024年11月5日)公表の「営業外費用(為替差損)の計上、2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,300	26,324
受取手形及び売掛金	25,853	23,968
商品及び製品	11,186	12,175
仕掛品	11,731	12,886
原材料及び貯蔵品	6,236	6,193
その他	4,564	5,697
貸倒引当金	△58	△51
流動資産合計	104,815	87,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,412	15,346
機械装置及び運搬具(純額)	15,739	15,688
工具、器具及び備品(純額)	2,733	2,742
土地	6,966	6,953
リース資産(純額)	377	347
使用権資産(純額)	3,084	2,853
建設仮勘定	8,470	5,248
有形固定資産合計	47,784	49,179
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	14,649	16,105
その他	3,350	3,533
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	17,982	19,621
固定資産合計	68,106	71,138
資産合計	172,921	158,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,143	6,832
短期借入金	46,560	23,106
未払金	7,501	6,711
未払法人税等	1,161	531
賞与引当金	1,231	1,312
その他	11,419	11,372
流動負債合計	75,017	49,865
固定負債		
長期借入金	38,904	49,175
その他	5,388	4,792
固定負債合計	44,293	53,967
負債合計	119,310	103,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,452	5,452
資本剰余金	57,487	57,343
利益剰余金	△26,702	△26,640
自己株式	△917	△918
株主資本合計	35,320	35,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	129
為替換算調整勘定	11,790	12,851
退職給付に係る調整累計額	5,994	5,794
その他の包括利益累計額合計	17,777	18,776
非支配株主持分	513	485
純資産合計	53,610	54,499
負債純資産合計	172,921	158,333

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	80,341	59,914
売上原価	63,247	47,777
売上総利益	17,093	12,137
販売費及び一般管理費	11,970	10,287
営業利益	5,123	1,850
営業外収益		
受取利息	79	93
受取配当金	79	1
為替差益	302	—
持分法による投資利益	385	348
その他	30	17
営業外収益合計	878	461
営業外費用		
支払利息	599	790
資金調達費用	54	397
為替差損	—	720
その他	27	103
営業外費用合計	681	2,012
経常利益	5,320	298
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	2,463	—
特別利益合計	2,466	2
特別損失		
固定資産処分損	11	14
独占禁止法関連損失	29,276	—
特別損失合計	29,287	14
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△21,500	287
法人税、住民税及び事業税	1,341	313
法人税等調整額	△59	△105
法人税等合計	1,282	207
中間純利益又は中間純損失(△)	△22,783	79
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△22,781	78



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△22,783	79
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,170	—
為替換算調整勘定	4,079	823
退職給付に係る調整額	35	△200
持分法適用会社に対する持分相当額	33	347
その他の包括利益合計	2,977	970
中間包括利益	△19,805	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△19,855	1,077
非支配株主に係る中間包括利益	49	△27

## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

なお、実務対応報告第46号第7項を適用しているため、当中間連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
棚卸資産	13,344百万円	14,358百万円
建物及び構築物	3,337百万円	5,878百万円
土地	7,222百万円	7,222百万円
投資有価証券	一百万円	15,923百万円
計	23,903百万円	43,382百万円

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
短期借入金	26,000百万円	一百万円
長期借入金	一百万円	11,000百万円
計	26,000百万円	11,000百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンデンサ		
売上高			
日本	14,087	1,974	16,062
中国	22,957	108	23,066
米州	10,568	18	10,586
欧州	13,029	0	13,030
その他	17,133	463	17,596
顧客との契約から生じる収益	77,776	2,565	80,341
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	77,776	2,565	80,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	77,776	2,565	80,341
セグメント利益	4,790	332	5,123

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CMOSカメラモジュール、インダクタ(コイル)などを含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンデンサ		
売上高			
日本	11,283	1,800	13,083
中国	18,009	61	18,070
米州	7,134	21	7,155
欧州	7,293	8	7,301
その他	13,928	374	14,303
顧客との契約から生じる収益	57,648	2,265	59,914
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	57,648	2,265	59,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	57,648	2,265	59,914
セグメント利益	1,677	172	1,850

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CMOSカメラモジュール、インダクタ(コイル)などを含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。